

DVD版

英語教育遺産

大阪プロジェクト

地域の先達のワザ・技術を将来に伝えよう!

DVD
VIDEO

DVD No.

E63-S

全6枚 44,100円

各枚 7,350円

(税込・送料別)

監修:

谷口 幸夫

(東京都立国分寺高等学校)

協力:

英語教育・達人セミナー
一般社団法人 教学図書協会
初芝立命館中学校・高等学校
羽衣学園 中学校・高等学校
カシオ計算機株式会社

DVD版

「英語教育遺産」とは…?

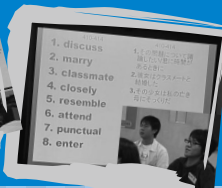
過去、日本の英語教育を支えてきたもしくは牽引してきた先生方の20年、30年、40年前の映像というのはほとんど残っていません。今回の企画は、今から20年、30年、40年後そして100年後の若い先生方や先生を目指す学生のために、今の時代でがんばっている先生方の姿を映像に記録していこうというものです。

ここでご紹介する指導方法や指導のアイデアなどが将来に継承されて、地域のひいては全国の英語教育の発展につなげていくことができると願っています。

プロジェクト第5弾は大阪です!

地域性豊かな先生方の独特のテンポで授業が展開されます。

6名の先生方の個性豊かな指導実践は、多くの先生方の日々の指導に大変お役立ていただけることでしょう!

E63-1 [99分]
テンポのある授業2巻以降の詳細については
裏面をご覧ください!!

裏面

E63-2 [85分]
身近な教材を使い切るための工夫E63-3 [61分]
1年生での表現活動(スピーチ)E63-4 [54分]
フォーカスオンフォームを取り入れた『文法』指導E63-5 [52分]
『受験』にも役立つ! ちょっとICT活用英語授業事例E63-6 [103分]
英語落語

E63-1 テンポのある授業

授業者: 上本 晋之 (四條畷市立四條畷中学校)

[99分]

テンポ感があり活気のある授業を行うためのさまざまな実践例を提案しています。
また、Tipsとして授業の合間に使える体操も取り上げています。

<英語はリズムで(中学1年から3年)>

◆Warm-up 発音チェック(単語の言い方のコツ)

・Break Time 目覚まし体操1

◆早口言葉を使って

◆歌を使って

・Break Time 目覚まし体操2

◆Mother Goose を使って「音読ちゃっかり上達チャンツ」

◆動詞の不規則変化を覚えよう

◆intonation と inflection

<変化のある繰り返し>

◆ゲーム(インフォメーションギャップの例)

◆本文の使い方(つっこみ読み)

<英語で表現する>

◆語順の理解と目標文の使い方

・Break Time 目覚まし体操3



ジャパンライムのホームページ

http://www.japanlaim.co.jp

メール会員登録募集中!

お申し込み方法

[記入例]

●送料は何巻でも525円となっております。ご希望のDVD No.を指定し、電話かハガキ、もしくは、FAXにてお申し込みください。

●表示価格は消費税込みの価格です。

●ホームページからのお申し込みもできます。

DVD No.

お名前

ご住所/TEL

お勤め先/TEL

お支払い方法

●到着日指定の「代金引き換え」の宅配便でお送りしております。

●学校公費及び教育機関、また個人研究費などご購入の場合、必要書類は、担当者までお申し付けください。

●カード(JCB、VISA、AmericanExpress、MASTER、DC、UC、UFJ、NICOS、イオンクレジット、ダイナース、クレディセゾン、東急TOP&カード)もお取り扱いできます。(分割可)

●お申し込み・お問い合わせはお気軽に!

JLC ジャパンライム株式会社

03(5840)9980

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 本郷竹下ビル4F

FAX.03(3818)6656



E63-2 身近な教材を使い切るための工夫

授業者: 山口 均 (貝塚市立第二中学校)

[85分]

大掛かりなものをあえて使わず、身近にいつでもある教材や人を使って、最小の準備で最大の効果が上げられる授業を提案しています。

◆1年生1学期のウォームアップとしての活動

- ・基本文の提示と全体練習
- ・ローテーションペアワークによる練習

◆新出単語導入の工夫(フラッシュカードを使い切る)

- ・提示された新出単語の意味調べを行う
- ・意味を確認し、発音を推測する
- ・フラッシュカードを用いての練習
- ・単語を分類し、意味チャックを生成する・単語の筆記練習

◆ピックアップカードを利用したスキーマ形成例

- ・日本語によるスキーマ形成(1年)
- ・英語のインタラクションによるスキーマ形成(2年)

◆リーディングの工夫

- ・リスニングによる内容推測・日本語による内容確認(部分訳)
- ・TFによる内容確認・音読・ペアによるIntake Reading

◆インテイクからアウトプットへ

- ・ペアによる英作文作成・発表練習と発表

◆内容理解からアウトプットへ

- ・Questionの意味確認・個人作業による解答
- ・ペアによる解答の確認/班による解答の交流
- ・全体での解答



E63-3 1年生での表現活動(スピーチ)

授業者: 古川 元庸 (河内長野市立美加の台中学校)

[61分]

中学1年生の1年間で、どのような活動をさせていけるか、語彙の少ない1年生にどのようにスピーチさせていけるかと、スピーチ指導での有効な指導技術を提案しています。

◆自己紹介(4月)

(小学校で習ってきた10文の定型文を使って、自己紹介をする)

- ・(全体で)口頭で、定型文を確認する
- ・ワークシートに自分自身のことを書く
- ・ワークシートを使って練習(ペアで)
- ・発表

◆自己紹介(7月)

(自分について、伝えたい内容を3つにしぼってスピーチする)

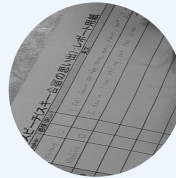
- ・自分の好きなもの考える

- ・マッピングで内容について考える

- ・英文を書く

◆スキー合宿の思い出(2月)

- ・表現を学ぶ
- ・原稿作り
- ・原稿修正
- ・練習～発表



E63-4 フォーカスオンフォームを取り入れた『文法』指導

授業者: 溝畑 保之 (大阪府立鳳高等学校)

[54分]

ペアで行うストーリーの再生と、形式に重点を絞ってしまう従来のドリル練習をステップを踏んで行うフォーカス・オン・フォーム(FonF)を取り入れた指導を紹介しています。

<ペアで行うストーリーの再生>

◆活動の説明 ◆リスニング ◆再生

◆音読練習 ストーリーを半分はペアで分担し、音読練習をする

◆ストーリーの再生 2つのペアでお互いの再生を伝える

<フォーカスオンフォームを取り入れた『文法』指導>

◆ポップアップ&セイ

- ・発音のチェックポイント確認・ポップアップ&セイ ゲーム
- ・単語の意味確認・単語発音練習

◆和文英訳 ◆相互チェック

◆Listen Read (モデルのリスニングと自分の英文の訂正)

◆Notice(気付きを促す機会)

◆Oral Reading Practice音読練習

- ・チャンクで一斉繰り返し・リード&ルックアップ
- ・パラレルリーディング・シャドーイング

◆5つの他動詞を使ってShort Storyをつくる



E63-5 『受験』にも役立つ! ちょっとICT活用英語授業事例 ～プレゼンソフトからプラズマ型電子黒板まで～

授業者: 米田 謙三 (羽衣学園中学校・高等学校)

[52分]

入試に対応する速読・読解力・リスニング力・ライティング力や、ディスカッション・コミュニケーション・分析の能力を身につけるための、電子黒板などのICTを活用した活動例を紹介しています。

<「音読」から「暗誦」へ>

◆「ウォームアップ」プラズマ型電子黒板を用いて導入

- ・デパートゲーム/神経衰弱

◆「ペアワーク」音読・暗誦を「絵」と結びつける

- ・プレゼンソフトを使っての読みの練習・キーワードを使って暗唱
- ・ペアで暗唱練習・代表グループの発表

<「暗唱」から「作文」「議論」へ>

◆「ウォームアップ」プラズマ型電子黒板を用いて導入

- ・速読用の長文を電子黒板に提示
- ・全員前の電子黒板か中間モニターに注目してリスニング
- ・問題に答える・教師が電子黒板にスラッシュを入れていく

◆「ペアワーク」音読・暗誦を「意味」と結びつける

- ・内容理解: 本文の解説で電子辞書を使う
- ・ペアワーク(一方が英語: 一方が日本語)
- ・読みのスピードの計測・内容理解からクイズを解く

◆タブレットの効果的な使い方/ICTの意義について



E63-6 英語落語 ～英語の授業に落語を取り入れる～

解説: 藤澤 良行 (大阪樟蔭女子大学 学芸学部国際英語学科) 授業者: 北川 千穂 (大阪樟蔭女子大学)

[103分]

英語教育の中に落語を取り入れた実践例を取り上げ、その手順と指導ポイントを丁寧に紹介。

落語はダイアログを生き生きとさせ、パフォーマンスの喜びを生徒たちに与えてくれます。是非一度お試しください。



◆Introduction 先生へのメッセージ

◆自己紹介

◆小咄

- ・小咄: 意味確認
- ・小咄: 強勢
- ・発声&ウォーミングアップ
- ・発声
- ・小咄: 暗記

- ・小咄: 上下(かみしも)
- ・小咄: 発表会1
- ・キャラクター設定/状況設定
- ・小咄: 発表会2
- ・小咄: 発展

◆最後に

